

音源収録にあたっての注意事項

1. 重唱・合唱部門では、ピアノ伴奏の音量が大きくなりすぎないように注意してください。
録音機のマイクをピアノの上やピアノ寄りに設置せず、合唱者側に寄せて録音してください。
空間の響きを表現するために、録音機は演奏者・合唱者からある程度離して置くことが理想です。
2. 録音スイッチの ON/OFF は、演奏の直前・直後に操作せず、5 秒以上余裕をもって操作してください。
例) 録音スイッチ ON → 5 秒以上間を空ける → 演奏開始・終了 →
5 秒以上間を空ける → 録音スイッチ OFF
3. 録音ボリュームの調整は、録音機によりますが、自動 (=オート) ではなく手動 (=マニュアル) が望ましいです。
自動調整の場合、小さい音を大きく、大きい音を小さくしてしまうため、楽曲の強弱が表現されない場合があります。演奏のフォルテシモで音割れしないよう、録音ボリュームを調整してください。
4. マイクや録音機の側に雑音源 (スピーカーなどの強力な磁石、エアコン・TV・冷蔵庫などの電気製品) がない場所で録音してください。「ブーン」や「サー」という雑音が録音されるのを防ぐためです。
※演奏中に操作音、咳、足音などが録音されないようご注意ください。